

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 2018(H30)8.24

No.5

豊岡市のホームページにもアップしています

豊岡市 HP→左中段「⇒くらしの情報」→右中段「⇒教育委員会」

→「⇒教育研修センター」からご覧いただけます

豊岡市教育フォーラム

8月6日に平成30年度豊岡市教育フォーラムを開催しました。このフォーラムは、今年で10回目を迎えました。日本の教育界に大きな影響を与えた教育者、東井義雄氏の教育理念である「常に子どもの側にある教育」に学び、東井教育の現代的実践化について考えること、日々の自分の教育実践を見つめ直し考えを深めることを目的にしています。

そこで、まず、子どもの事実に学ぶことや子どもに寄り添うことを常に心がけ、一人一人の子どもを大切にする実践を行っておられる3名の先生方に実践発表をしていただきました。

安達 由加里 教諭（豊岡市立竹野小学校）

「子どもに寄り添った認め合える授業づくりをめざして」

天野 千穂 教諭（豊岡市立八代小学校）

「4年間で学んだ子どもを『知る』ということ」

桶家 久美 教諭（豊岡市立出石中学校）

「ありのまま そのまま まるごと 受けとめて…」



続いて、実践発表を聞きながら心に残った言葉や参加者自身が自分の実践に引き寄せながら考えたこと、感じたことを交流しました。「子どもの声を聞くこと」「失敗から学ぶこと」「先輩や同僚の力を借りること」「背景を含めた子どもを受け止めること」の大切さ等について、実践発表の内容や自分の経験と関連づけた発言がありました。

最後に、五荘小学校 鳥居校長先生に、3名の先生方の実践発表に共通する“聞く”“成長”“肯定”という3つのキーワードで実践の意味づけを、嶋教育長から東井先生の実践の視点に立った助言をいただきました。お2人のお話により、実践の教育的価値を再確認するとともに、参加者一人一人が子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育について日々の実践を振り返り、考えを深めることができました。

参加いただいたすべての先生方の手で素晴らしいフォーラムをつくっていただきました。ありがとうございました。

